

奥秩父 南天山

Hiya

期 日：2020年10月25日（月） 快晴

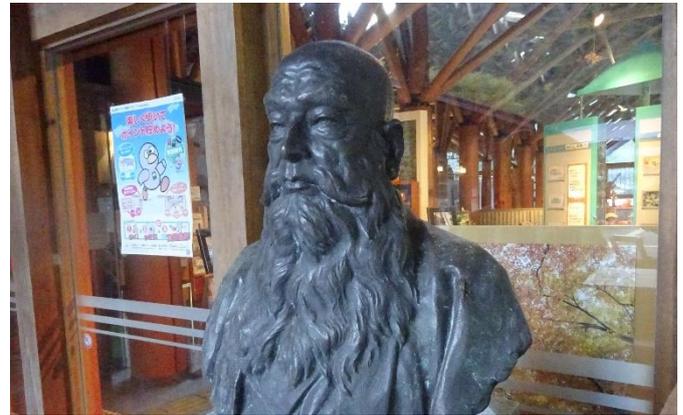
コース：中津川（りんどう荘）7:15→登山口 7:55→法印ノ滝 8:40→二又分岐 9:30→南天山 11:05/30→二又分岐 12:50 →法印ノ滝 13:45→登山口 14:50→中津川 15:30

参加者：単独

前日中津川に入り、南天山に登った。標高 1,500m弱、標高差 700m 弱だが累積では 1,000m 近い。前半は沢沿いを登る。渡橋、栈道、高巻を繰り返す。後半は急斜面の九十九折と稜線の急登が続く。山頂からの展望は良い。



中津川には彩の国ふれあいの森として諸施設が整備されている。こまどり荘に泊る。



本多静六博士は昭和5年山林2,700ha を県に寄贈。南天山、両神山はその中にある。



朝食を早めて貰い早めに出発



中津川沿いの平坦な林道を登山口へ向う。紅葉はまだ。道は川上村に通じるようだ。



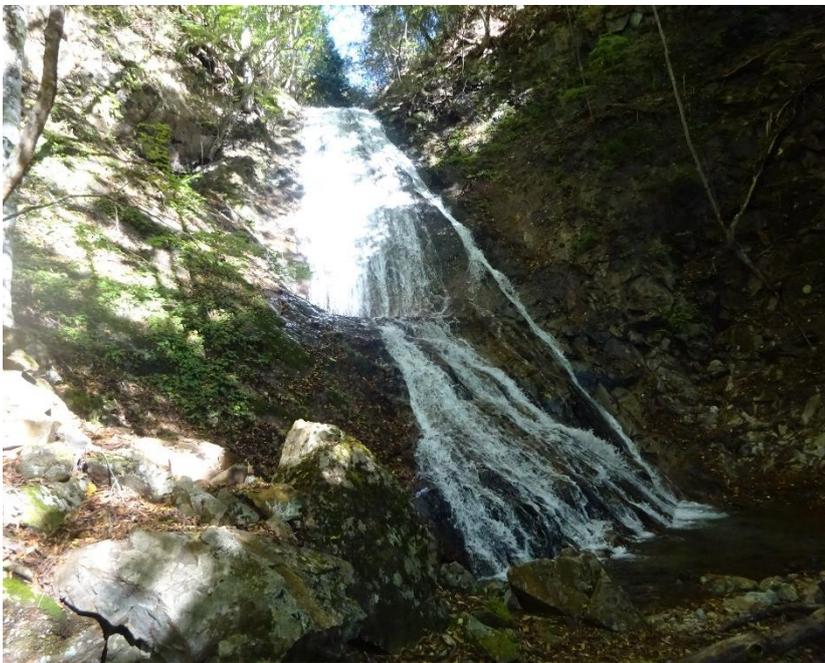
鎌倉沢に架かる橋を渡った所に登山口。熊出没の表示。熊鈴は装着済み。



鎌倉沢を右下に見て広葉樹林の山腹を進む。

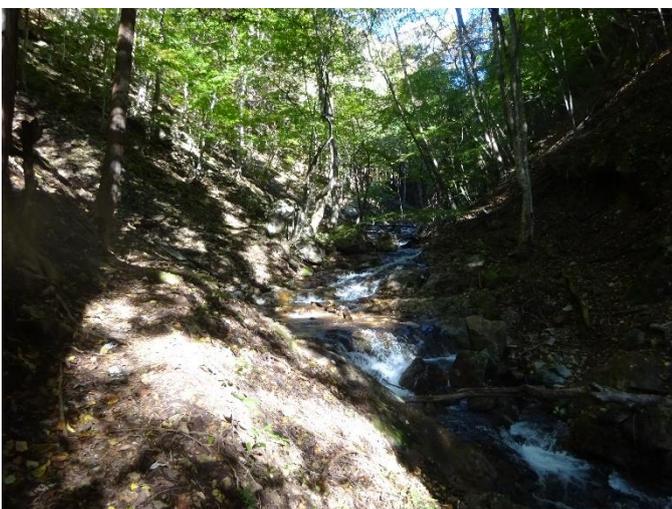


沢床に下り沢沿いを登る。渡橋、栈道、高巻を繰り返して進む。



程なく高さ約20mの法印ノ滝

左側を高巻し、鎖場を通過し上に出る



滝の上に出ても渡橋、栈道、高巻は尚も続く



程なく立木の根元に小さな案内板。  
沢コースは直進、尾根コースは右矢印。



沢を渡渉して対岸の尾根コースに取り付く。  
ヒノキの植林帯の急斜面をシグザグに登る。



高度を上げるとカラマツ林となる



稜線に出ても急登は続く。黄葉が進んでいる。



周りの眺望は木々に遮られ今一つ



山頂近くで岩場となる。



岩場を越えると山頂。誰もいない。  
山頂は狭く、岩が露出。足場良くない。  
雲一つない快晴。大展望が望める。



これが両神山だろう



絶景を独り占め



周りの山々も険峻そうだ



後から来た単独者と写真を撮り合った後、  
登って来た道を急がずに慎重に下る。